

## 平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社 極楽湯

コード番号 2340 URL <http://www.gokurakuyu.ne.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 新川 隆丈

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長

(氏名) 松本 俊二

TEL 03-5275-0580

四半期報告書提出予定日 平成21年8月14日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	2,092	1.1	27		17		17	
21年3月期第1四半期	2,069		78		35		25	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
22年3月期第1四半期	1.63	
21年3月期第1四半期	2.43	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
22年3月期第1四半期	13,838	4,543	31.8	415.43
21年3月期	13,230	4,592	33.7	420.90

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 4,399百万円 21年3月期 4,458百万円

### 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
21年3月期		2.00		4.00	6.00
22年3月期					
22年3月期 (予想)		0.00		6.00	6.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期 連結累計期間	4,330	0.4	0	100.0	50		50		4.72
通期	9,600	8.7	250	28.2	200	22.0	100		9.44

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔注〕詳細は、4ページ〔定性的情報・財務諸表等〕4. その他をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

会計基準等の改正に伴う変更 無  
以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	11,529,000株	21年3月期	11,529,000株
期末自己株式数	22年3月期第1四半期	937,500株	21年3月期	937,500株
期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	10,591,500株	21年3月期第1四半期	10,591,500株

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。詳細は、3ページ〔定性的情報・財務諸表等〕3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、一部の生産や株価に回復の兆しが見られたものの、昨年からの世界的な金融危機が及ぼす影響は根強く、企業業績の不振や雇用情勢の悪化、個人消費の低迷など、依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、個人所得の減少や雇用不安等に伴う消費者の節約志向の強まりを背景とした客単価の低下は見られるものの、お客様第一主義に基づき更なるサービス向上に努めたことに加え、積極的な販促活動や「安・近・短」レジャーの需要回帰等により、来店客数は前年同期に比べ微増で推移する結果となりました。また、原油価格の落ち着きを背景とした光熱費等のエネルギーコストの減少もあり、利益面は最終的にマイナスではあるものの前年同期に比べ改善いたしました。

一方で、さらなる業容拡大及び業績向上を目指し、新店の出店やFC店の直営化、中国・アジアを中心とした海外展開に向けた取り組みなども積極的に推進しております。

店舗数につきましては、平成21年5月に「極楽湯千葉稲毛店」(直営店)の出店、6月には「極楽湯吹田店」をFCから直営化し、合計で47店舗(直営20、FC27)となりました。

以上の結果、当第1四半期は、売上高2,092百万円(前年同期比1.1%増)となりました。損益面につきましては、営業損失27百万円(前年同期営業損失78百万円)、経常損失17百万円(前年同期経常損失35百万円)、四半期純損失17百万円(前年同期四半期純損失25百万円)となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間における総資産は13,838百万円となり、前連結会計年度末に比べ608百万円増加しました。これは主に、現金及び預金の増加264百万円、新規出店等による建物及び構築物(純額)の取得159百万円等によるものであります。

負債合計は9,295百万円となり、前連結会計年度末に比べ656百万円の増加となりました。これは主に、短期借入金の増加516百万円、長期借入金の増加176百万円等によるものであります。

純資産合計は4,543百万円となり、前連結会計年度末に比べ48百万円の減少となりました。これは主に、期末配当金の実施42百万円等によるものであります。また、自己資本比率につきましては、31.8%となりました。

(2) キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度第1四半期末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は1,202百万円となり、前連結会計年度末に比べ、264百万円増加いたしました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、62百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純損失22百万円、減価償却費187百万円、売上債権の減少額57百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、408百万円となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出165百万円、貸付けによる支出130百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、610百万円となりました。これは主に、短期借入金の純増加額516百万円、長期借入れによる収入395百万円等によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年5月15日の決算短信で発表しました業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

経過勘定項目の算定方法

合理的な算定方法による概算額で計上する方法によっております。

未実現損益の消去

四半期連結会計期間末在庫高に占める当該棚卸資産の金額及び当該取引に係る損益率を合理的に見積って計算しております。

連結会社相互間の債権債務及び取引の相殺消去

連結会社相互間の債権と債務の相殺消去

当該債権の額と債務の額に差異が見られる場合には、合理的な範囲内で当該差異の調整を行わないで債権と債務を相殺消去しております。

連結会社相互間の取引の相殺消去

取引金額に差異がある場合で当該差異の重要性が乏しい時には、親会社の金額に合わせる方法により相殺消去しております。

法人税等の算定方法

法人税等の計上は、簡便な方法により計算しております。また、その他影響額の僅少なものについては、一部簡便な方法により計上しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5.【四半期連結財務諸表】  
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,202,848	938,616
売掛金	63,904	121,319
たな卸資産	26,919	20,314
繰延税金資産	30,988	22,147
その他	383,336	276,894
流動資産合計	1,707,998	1,379,291
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物(純額)	3,264,853	3,105,366
工具、器具及び備品(純額)	62,701	25,508
リース資産(純額)	3,491,459	3,571,574
土地	244,250	244,926
建設仮勘定	268,356	341,138
有形固定資産合計	7,331,621	7,288,515
<b>無形固定資産</b>		
リース資産	48,393	54,841
その他	47,293	49,293
無形固定資産合計	95,687	104,134
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	51,777	58,539
繰延税金資産	261,966	248,301
敷金及び保証金	3,689,256	3,611,967
その他	730,001	562,536
貸倒引当金	29,600	22,600
投資その他の資産合計	4,703,401	4,458,744
<b>固定資産合計</b>	12,130,711	11,851,394
<b>資産合計</b>	13,838,709	13,230,685

(単位：千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	219,454	265,835
短期借入金	1,150,700	634,000
1年内償還予定の社債	84,000	84,000
1年内返済予定の長期借入金	773,600	740,000
リース債務	446,146	428,491
未払金	276,880	215,446
未払法人税等	24,039	35,043
賞与引当金	65,081	42,160
その他	562,611	577,090
流動負債合計	3,602,514	3,022,068
<b>固定負債</b>		
社債	222,000	222,000
長期借入金	2,016,700	1,840,300
リース債務	3,336,538	3,425,503
退職給付引当金	34,686	30,905
デリバティブ債務	3,736	16,927
その他	79,079	80,935
固定負債合計	5,692,740	5,616,571
負債合計	9,295,255	8,638,639
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	2,032,626	2,032,626
資本剰余金	2,179,226	2,179,226
利益剰余金	655,752	715,357
自己株式	466,875	466,875
株主資本合計	4,400,730	4,460,335
<b>評価・換算差額等</b>		
その他有価証券評価差額金	744	2,327
評価・換算差額等合計	744	2,327
新株予約権	143,467	134,038
純資産合計	4,543,454	4,592,045
負債純資産合計	13,838,709	13,230,685

(2)【四半期連結損益計算書】  
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,069,177	2,092,162
売上原価	1,948,409	1,950,056
売上総利益	120,768	142,106
販売費及び一般管理費	199,035	169,923
営業損失( )	78,266	27,817
営業外収益		
デリバティブ評価益	56,388	13,190
協賛金収入	-	24,380
その他	25,278	14,987
営業外収益合計	81,666	52,559
営業外費用		
支払利息	36,965	34,359
その他	2,296	7,489
営業外費用合計	39,262	41,848
経常損失( )	35,862	17,106
特別利益		
投資有価証券売却益	-	167
固定資産売却益	-	1,931
特別利益合計	-	2,099
特別損失		
貸倒引当金繰入額	-	7,000
特別損失合計	-	7,000
税金等調整前四半期純損失( )	35,862	22,006
法人税、住民税及び事業税	14,335	18,825
法人税等調整額	24,505	23,593
法人税等合計	10,169	4,767
四半期純損失( )	25,693	17,238

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失( )	35,862	22,006
減価償却費	239,505	187,475
退職給付引当金の増減額( は減少)	2,649	3,780
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	3,000	-
貸倒引当金の増減額( は減少)	-	7,000
賞与引当金の増減額( は減少)	28,257	22,921
受取利息及び受取配当金	2,341	3,206
支払利息及び社債利息	38,721	35,833
固定資産売却損益( は益)	-	1,931
デリバティブ評価損益( は益)	56,388	13,190
売上債権の増減額( は増加)	90,615	57,414
たな卸資産の増減額( は増加)	140	6,604
未収消費税等の増減額( は増加)	126,828	59
仕入債務の増減額( は減少)	74,815	46,380
未払消費税等の増減額( は減少)	9,587	53,787
その他	181,396	43,220
小計	188,502	124,036
利息及び配当金の受取額	784	1,133
利息の支払額	38,721	33,013
法人税等の支払額	94,429	29,830
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,135	62,327
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	62,073	165,319
有形固定資産の売却による収入	-	7,065
投資有価証券の売却による収入	-	9,599
差入保証金の差入による支出	-	90,378
差入保証金の回収による収入	-	13,090
貸付けによる支出	47,000	130,000
貸付金の回収による収入	-	70,971
建設協力金の支払による支出	-	128,000
その他	5,530	4,114
投資活動によるキャッシュ・フロー	103,542	408,857
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	250,000	516,700
長期借入れによる収入	-	395,000
長期借入金の返済による支出	225,000	185,000
リース債務の返済による支出	144,154	108,724
配当金の支払額	4,392	5,650
その他	-	1,561
財務活動によるキャッシュ・フロー	623,547	610,762
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	670,954	264,232
現金及び現金同等物の期首残高	1,593,123	938,616
現金及び現金同等物の四半期末残高	922,168	1,202,848

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。